Congratulation

県中学校英語弁論大会
3位入賞
全国大会出場

嵯峨歌連（かれん）さん

第62回岩手県中学校英語弁論大会
自作部門第3位

市立中学校英語弁論大会でスピーチをする歌連さん

自分の思い 感動してもらえる 発表を―

9月4日に盛岡市で行われた、第62回岩手県中学校英語弁論大会（岩手県中学校英語教育研究会主催）に参加した嵯峨歌連さん（久慈中学校・2年）が弁論の部で見事3位に入賞。全国中学校英語弁論大会への出場が決まりました。

「昨年の大会では4位と一歩届かずに悔しい思いをしましたが、その経験をバネに今年は自分の全てを出し切れました」と話す歌連さん。家族やたくさんの人への感謝の気持ちを伝えるために堂々と発表できたことが結果につながったのではないでしょうか。

小学2年生から英語を学び始め、中学校では、英語担当の中坂明子先生との出会いもあり、改めて英語の楽しさを実感しているそうです。

将来は世界で活躍するピアニストになることが夢と話す歌連さん。「自分の思いを聴いて感動してもらえるような発表をしたい」と全国大会への意気込みを語りました。

自分が納得できる発表に結果は自然とついてくるはず。英語弁論を通して自分と向き合いながら成長していく歌連さんの発表に期待です。

発表後の表情に達成感が表れています

わたしの主張久慈地区大会

それぞれの思いを訴え

わたしの主張久慈地区大会（同実行委員会主催）は8月24日、洋野町立中野中学校で開催。前身となる久慈地区中学校防犯弁論大会から数えて通算51回目の開催となる今大会に各中学校の代表者が自分の経験から得た考えや思いを心の底から訴えました。

家庭やいじめ問題、クラブ活動など、物事に正面からぶつかり、真剣に悩み、考えた発表を傾聴した生徒たちは真剣な表情で自分のことのようにうなずきながらメモを取っていました。

麦澤正剛審査委員長は「それぞれの思いを的確に、熱意をもって発表できました。いろいろな経験や実践を踏まえ、これからの前向きな意見に好感が持てました」と講評しました。

【入賞者　※敬称略】（久慈市分）
○優秀賞…畑中智香（山形中3年）「あの、すずらんの花のように」
○優良賞…中野美幸（久慈中3年）「日本で生きている私」、夏井杏香（夏井中3年）「真実を知るということ」

真剣なまなざしで発表する畑中智香さん

SPORT

久慈地区中学校陸上競技大会が開催

応援を受け、選手も全力

8月28日に久慈地区中学校陸上競技大会が久慈総合運動場で行われました。大会には久慈地域の15校から約500人が参加し、記録に挑戦しました。

競技前から各学校の力強い応援は始まり、競技開始に向けその声は大きくなりました。母校の応援を受け選手の士気も高まり、どの選手も全力で競技に挑みました。

四種競技で大会新記録の澤里さつきさん（久慈中・3年）

子どもを応援に来ていた新山康恵さん（宇部町）は「暑くて大変だと思いますが、どの子も暑さに負けずに頑張ってほしいですね」と声援を送っていました。

女子の競技では、100mハードル、走幅跳び、4×100mリレー、四種競技で久慈中学校の生徒が大会新記録を記録。生徒たちの今後の成長が楽しみです。

400mで快走を見せる長坂優貴くん（山形中・3年）

SPORT

三船十段記念館スポ少、日整全国少年柔道大会へ

優勝を目標に、みんなで

10月8日に東京都の講道館で行われる第21回日整全国少年柔道大会に、三船十段記念館柔道スポーツ少年団が出場します。同少年団の選手たちは大会へ向けて日々練習を重ねています。

全国大会への出場権は、2月に行われた第34回岩手県スポーツ少年団柔道大会での優勝で獲得したものです。

同大会へ出場する団体メンバーの主将の佐藤大知くん（長内小6年）は「練習は順調に進んでいます。大会では、優勝を目標にチームみんなで頑張ります」と意気込んでいました。

同少年団の全国大会出場は今年3回目になります。柔道のまち久慈の将来を担う選手たちをみんなで応援していきましょう。

日々真剣に練習する選手たち

全国大会へ向けガッツポーズ！